



PRESS RELEASE

2003年5月30日

日本航空株式会社
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

JAL グループと NTT ドコモ、FOMA®と無線 LAN で空港業務の効率化を！
～モバイルネットワークによる通信効率化の共同実証実験を開始～

JAL グループの日本航空(本社:東京都品川区、社長:羽根田 勝夫、以下 JAL)とエヌ・ティ・ティ・ドコモ(本社:東京都千代田区、社長:立川 敬二、以下 NTT ドコモ)は、FOMA と無線 LAN によるモバイルネットワークを活用して、空港業務の効率化を図る共同実証実験を新東京国際空港(成田空港)で 6 月 2 日より行うことで合意致しました。

JAL グループでは、現在、主として音声によるスタッフ間の無線通信を使用しています。空港業務を一層効率的に行うために、データ通信を活用する等、更に進化した通信手段を模索しておりましたが、今般、NTT ドコモの技術によって、一つの端末で、音声通話とデータ通信を可能にする、FOMA を用いた先進的な通信の実現に近づくことができ、実用段階に入る前の検証を行うこととなりました。今回検証するのは、FOMA と PDA を活用した、発着便情報閲覧システムのモバイル利用と、音声通話アプリケーション技術を利用した IP ネットワーク上での音声通話です。この二つの技術によって、小型化による携帯性が改善され、業務の効率化のみならず、お客様への情報提供や、定時性の確保という面での効果も期待しています。

JALとNTTドコモは、お客様にとって、JALグループのフライトが更にご利用頂き易くなるよう、この技術を早期に実現できるよう努力して参ります。

実証実験の詳細は別紙のとおりです。

※「FOMA」は NTT ドコモの登録商標です。

FOMA と無線 LAN を活用した航空アプリケーション実証実験の概要

1. 実証実験の期間と場所

期間: 2003 年 6 月 2 日(月)から 2003 年 11 月 30 日(日)

場所: 新東京国際空港(成田空港)

2. 実証実験の概要

(1) FOMA と PDA を活用した発着便情報閲覧システムの実用性の検証

FOMA の 384Kbps パケット通信を利用することで、PDA より発着便情報を閲覧可能とするモバイルシステムの実用性を検証する

(2) 無線 LAN を利用した PDA-音声通話アプリケーションの実用性の検証

発着便情報閲覧システムで利用する PDA より、音声通信を可能とする PDA-音声通話アプリケーションの実用性を検証する

3. 実証実験のイメージ

(1) 発着便情報閲覧システムと端末イメージ図



(2) 実証実験ネットワークイメージ図

